

令和4年度長野県高等学校新人体育大会 剣道競技 東信大会実施に関する  
『新型コロナウイルス感染予防』ガイドライン (重要)

【参加にあたって】 (選手・補助員・剣道部員・役員・引率職員のすべて対象)

1. 大会は無観客で行い、入場は、選手・補助員・剣道部員・監督・顧問・大会役員・係員等許可された関係者のみとする。大会関係施設への立ち入りも同様とする。
2. 以下に該当する者は参加できない。
  - (ア) 基礎疾患のある者
    - 基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう。
    - これらの者で参加を希望する者は主治医の承認を得るものとする。
  - (イ) 発熱のある者
    - 個人差はあるが、一般的には「37.5℃以上ある者」をいう。
  - (ウ) 咳、咽頭痛など風邪のような症状がある者、その他体調がよくない者。
  - (エ) 同居家族や身近な知人に感染および感染が疑われる方がいる場合。
  - (オ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触者がある場合。
3. 参加者ならびに関係者は、大会1週間前より「参加者健康確認票」(様式1)に検温を行い記録する。また、大会当日は自宅で検温し健康状況等の必要事項を記入して会場に持参する。
4. 参加者ならびに関係者は、常にマスクを着用する。※選手・審判員のマスクに関する詳細は別欄

【入場・受付にあたって】 (選手・補助員・役員・引率職員のすべて対象)

1. 参加者ならびに関係者は、会場への行き帰りの際に「家庭用マスク」を着用し感染予防に努める。
2. 会場まで自家用車で送ってもらえる選手は、更衣室などの密集を避けるため、あらかじめ道着・袴に着替えて入場することを推奨する。
3. 本部は、体育館正面玄関付近に受付場所を設置し、係を複数名配置する。参加者ならびに関係者は入場する際、行列にならないように配慮する。(上小地区生徒・佐久地区生徒・役員および引率顧問の3箇所の受付を理想とする。)
4. 参加者ならびに関係者は受付で、持参した「参加者確認票」を係員に提出する。
  - (ア) 「参加者確認票」を持参しなかった者は、原則として入場できない。
  - (イ) 付き添いの保護者、見学者等は入場できない。
  - (ウ) 受付にて体温測定を行う。(当日の朝に検温をして来場していれば不要)
5. 体温測定により、37.5℃以上ある者は原則入場できない。その際、係は本部や引率職員と相談し、その後の対応を検討する。
6. 受付場所に手指消毒液を設置し、参加者は消毒を行う。
7. 複数日参加する参加者ならびに関係者には、会場に訪れる最終日を除き「参加者健康管理表」を返却する。返却方法は以下のとおりとする。
  - (ア) 生徒および顧問：本部 ⇒ 各校顧問 ⇒ 生徒
  - (イ) 依頼審判：本部 ⇒ 試合場主任 ⇒ 依頼審判
  - (ウ) その他役員等：本部 ⇒ その他役員等

【会場内での行動等にあたって】 (選手・補助員・役員・引率職員のすべて対象)

1. 参加者並びに関係者は、フィジカル・ディスタンスを常に保つように心がける。
2. 更衣室兼控室では密集・密接を避ける。試合前後のミーティング等においても密集・密接を避ける。
3. 参加者ならびに関係者は、細目に手指消毒・手洗い・うがいを行う。
4. 参加者の控室 兼 更衣室 兼 荷物置き場では、3密にならないように各校注意する。ゴミは各自で責任をもって持ち帰る。
5. 対面での飲食は避ける。水分補給のボトルは、各自で用意し共用しない。
6. 観覧席では、3密を避ける。(今大会では利用の予定はない)

【大会運営にあたって】

1. 本部は、大会日程に余裕をもって収まる範囲で、入場規制や試合方法を検討する。
2. 竹刀検量は実施しない。その代わり 顧問は事前に、竹刀点検確認票（様式2）を基に点検を行い、表に記入する。そして、大会当日の朝に本部へ提出する。（検量シールは貼らない）
3. 開会式は行わない（大会長挨拶と連絡等の開始式のみ）。閉会式は表彰のみとする。
4. 団体戦のチームの入れ替えは余裕をもって行き、密集・密接を避ける。（入れ替え方法は従来通り）
5. 「アップ練習」については、指定された場所、時間で行う。ただし、密にならないようにするため、出場選手のみの使用とし、短時間とする。
6. 面マスクの利用による熱中症や過呼吸等を考慮し、選手をよく観察する。（審判員・顧問・大会役員）
7. 参加者は、試合時に必ず面マスク（鼻まで覆う）とマウスガードを使用する。

【試合及び審判方法にあたって】

1. 「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」により実施する。
2. 審判員は、試合時マスクを着用する。白色の不織布とする。
3. 審判員は、できる限り各自の審判旗を持参し使用する。個々の審判旗がない場合は消毒済みの審判旗を受け取り使用する。審判旗は共用しない。
4. 審判員の入場、位置、移動等については、全剣連からの資料を参照とする。

【試合順及び試合時間等にあたって】

1. 試合順については、1日目男子団体、男子個人、2日目女子団体、女子個人とし決勝まで行う。
2. 試合時間は、団体戦4分3本勝負。勝敗が決しない場合、延長戦は行わず引き分けとする。個人戦4分3本勝負。勝敗が決しない場合、4分の延長戦を行う。延長戦2回終了後は呼吸を整えさせる。延長戦4回終了後は、面を外し給水処置等の休憩をとる。これ以降の延長戦は、この形を繰り返す。休憩時間はおよそ4分とし、4分後までには試合が開始出来る様に準備する。

【新型コロナウイルスに関わる大会参加の基準について】

1. 「部活動における臨時休業中の公式大会等への参加について」（令和4年4月28日付の4教高第74号）を基準とする。

【その他】

1. 大会会場では常に換気を行う。送風機が完備されている会場であれば利用する。
2. 本部は、消毒に関して最低でも以下の通り用意する。
  - (ア) 手指消毒液を受付（体育館入口）・アリーナ入口・各試合場・本部・男女トイレに用意する。
  - (イ) アルコール消毒液を各試合場・本部に用意する。
  - (ウ) 消毒などに利用する雑巾・キッチンペーパーを適切な数量用意する。
3. 参加校は各校で手指消毒液を持参する。
4. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等も含め報告する。又、各校顧問は全日本剣道連盟への報告も行う。
5. 新型コロナウイルスの感染者が出た場合は、参加者全員に対してPCR検査あるいは抗原検査の実施をお願いする。結果は速やかに主催者へ報告をする。

東信高体連剣道専門部

専門委員長 藤原 慎吾（東御清翔高等学校）

住所 東御市県276

TEL 0268-62-0014/FAX 0268-61-0013

【新型コロナウイルスに関わる大会参加の基準について】

※長野県高等学校体育連盟「新型コロナウイルス感染症に係るガイドライン」(R4/4/28改訂版) 一部抜粋

▲学級・学年・学校臨時休業期間中の特例措置

- 1 生徒及び教職員が陽性者となった場合、療養期間の大会参加を禁止とする。
- 2 濃厚接触者(相当者)は、外出自粛期間の大会参加を禁止とする。
- 3 濃厚接触者(相当者)以外の場合
  - 1) 特例措置として、抗原定性検査を実施し陰性が認められた場合のみ大会参加を可能とする。ただし、原則として費用については検査を実施する生徒の負担とする。
  - 2) 抗原定性検査は公式大会等の前日又は当日に原則として生徒の家庭等において実施し、陰性であることを学校へ報告する。学校は、その結果について大会本部へ連絡をする。(様式1)

補足：臨時休業期間中は参加日ごと検査した結果を様式1に取りまとめ提出すること。  
(例：休業期間中に大会に3日間出場する場合は、3回検査を行う。)

- 3) 家庭等において実施できない場合は、会場またはその周辺の閉鎖された空間で検査を実施することができる。(手順は別紙1参照)

\*家庭内(同居家族)で感染者が出た場合については保健所の指示に従うこと。